オイコクレジット・ジャパン

オイコクレジットの活動と日本のインパクト投資の見取り図

連続ウェビナー「持続可能な国際商品サプライチェーン：変化は一人じゃ起こせない
～ パートナーシップづくりの挑戦」

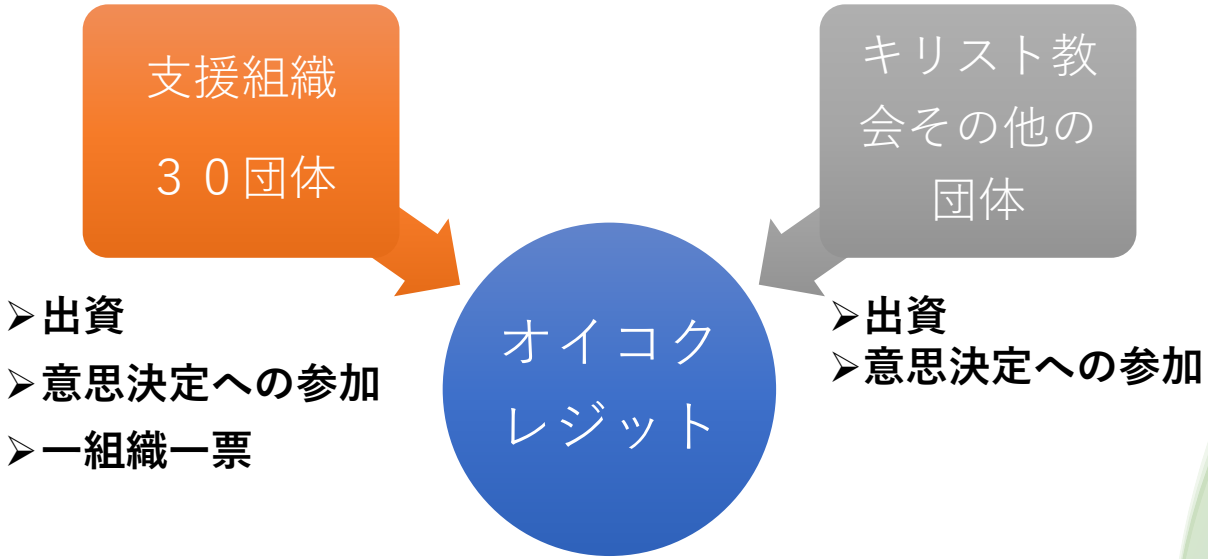
Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

OIKOCREDIT International とは

- オランダに本部 のある「**開発協同組合**」
- 1975年　キリスト教団体が母体となって設立

世界中に「組合員（**組織**）」

Support Association(SA)



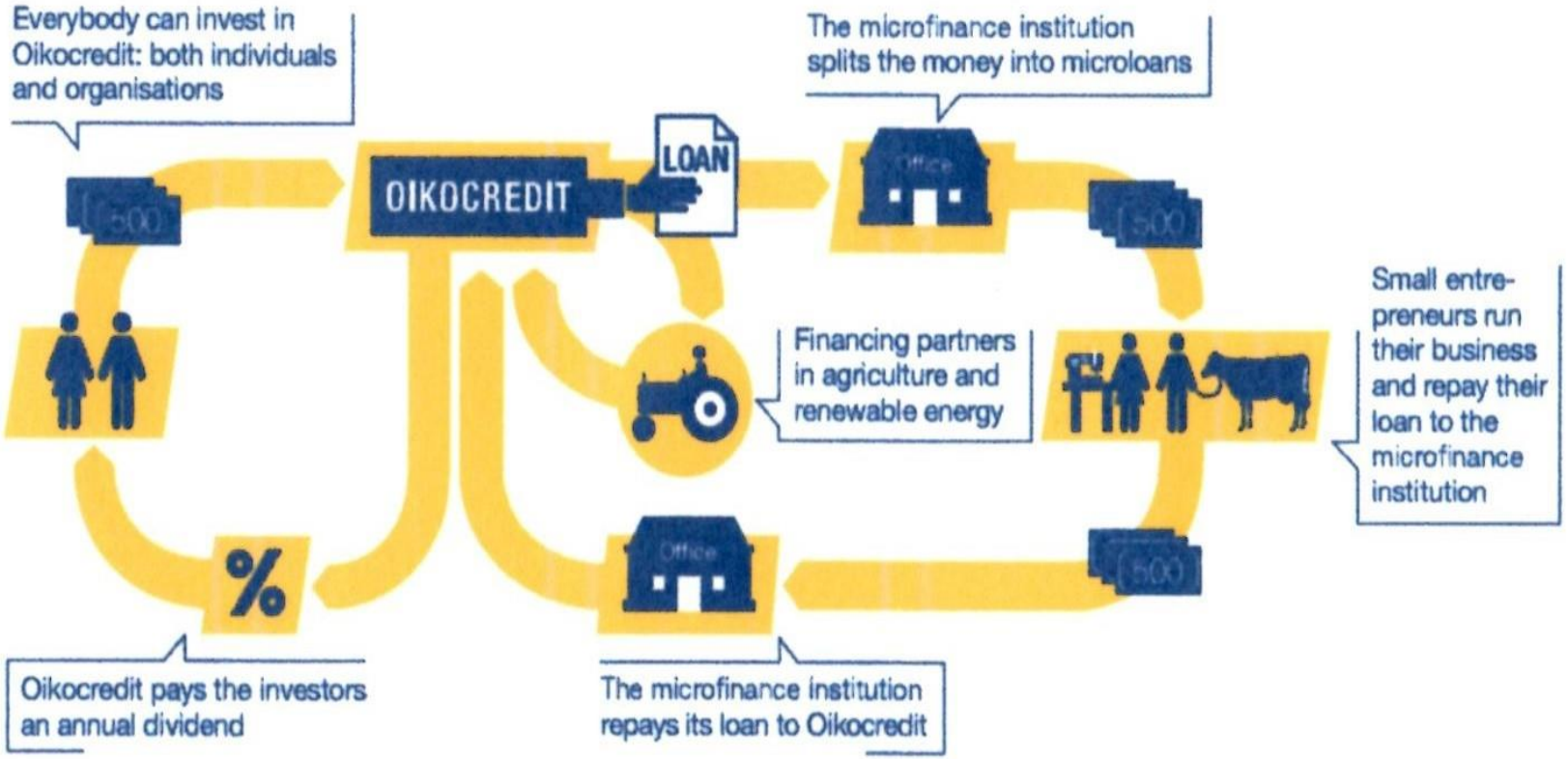
Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

オイコクレジットの理念、目的と現況

- 目的：発展途上国の人々自身による開発努力を支え、貧困を削減すること(Investing in People)
- 利益優先ではなく社会的に投資価値があることを重視
- 1975年以来、安全経営
- 末端出資者数：約59,000人
- 総資産：12億90万ユーロ（約1600億円）
- うち76%を発展途上国のパートナー団体の支援に運用
- パートナー（投資団体）：689の企業・協同組合
- マイクロファイナンスに対しては大手MFIの一つ。

Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

資金運用の仕組み



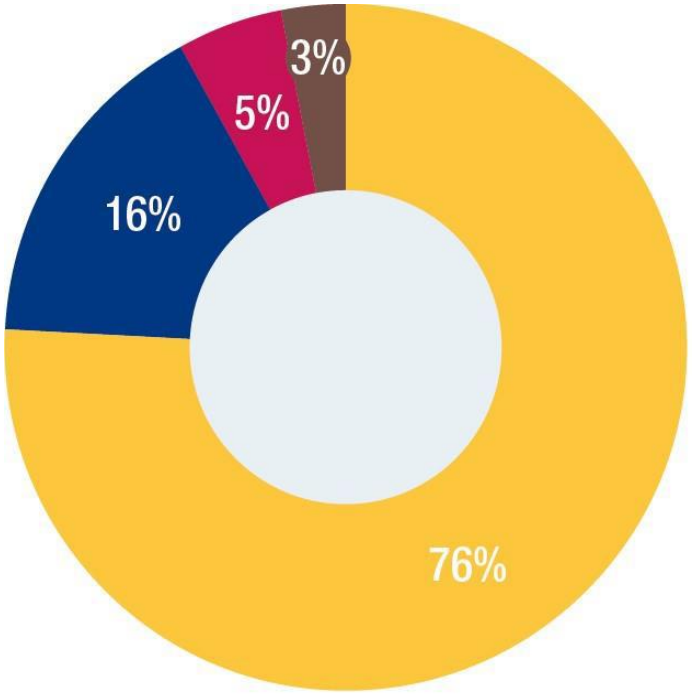
Oikocredit investment cycle

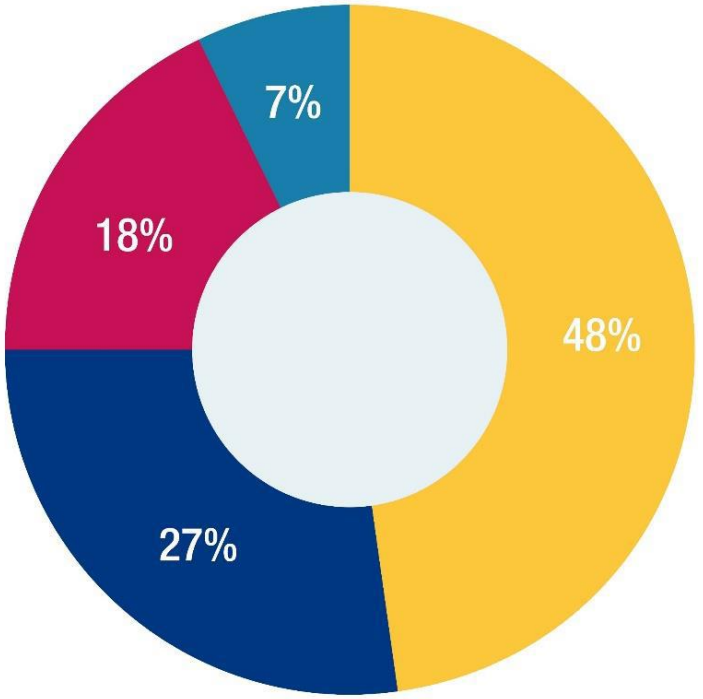
Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

開発金融残高内訳

（左：セクター　右：地域）

- マイクロファイナンスとファイナンシャル・インクルージョン
- 農村への電力の普及と持続可能なエネルギーの開発
- 脆弱な農業・漁業分野の発展＋関連産品のフェアトレード





Financial inclusion* Renewable energy

Agriculture Other

Africa Latin America and the Caribbean

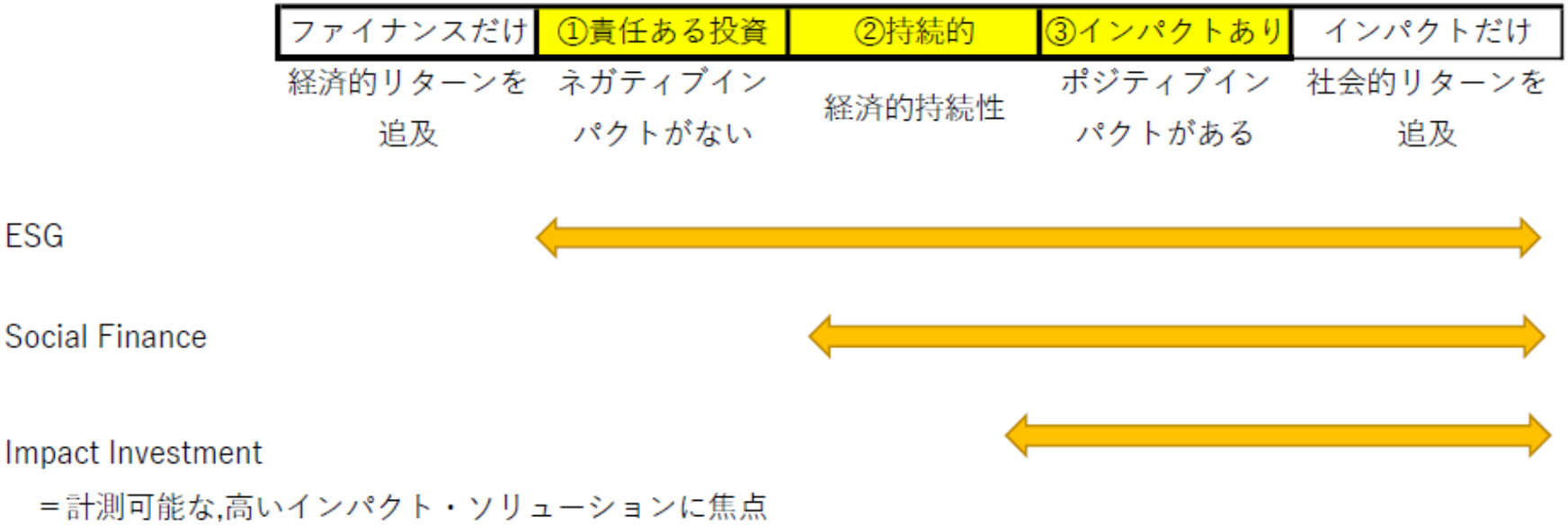
Asia Other

* including microfinance and SME finance

Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

Oikocreditはインパクト投資機関の一つ

現存する投資機関が目指しているものは多様



＝計測可能な,高いインパクト・ソリューションに焦点

Impact Investment 2019 を基に作成（GIIN；USAID）

Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

リスクはどのように抑制？

◆株式上場していない実体経済へ投資

　＝　株式取引市場とリンクが低い　＝　株式市場変動の影響小

◆融資対象（地域・セクター）の分散・多様化（MF：安定、農業：リスク高）

◆短期リターンが見込めない事業

　➡　融資ではなく株式参加（長期）

◆損失引当金＋損失ファンド

◆為替変動リスク

　➡　現地通貨でのリスクヘッジファンド

◆財務や技術の指導

◆投資対象へのソーシアル・パフォーマンス・マネジメント指導

◆リスクマネージメント指導（価格、ガバナンス）

◆他の専門機関との協働（IFC,USAID,Solidaridadなど）

Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

オイコクレジット・ジャパン

- オイコクレジットに特化した社会的投資団体
- 任意組合　（組合員109名）
- 組合員出資金：4085 万円
  （資産としては4300万円）
- 出資一件あたり金額：1万円～300万円
  （リピーターあり）
- オイコ株：オイコクレジット・ジャパンとしてまとめて購入。
- オイコからの配当：団体活動資金に。
  （広報・事業紹介と出資受付・償還業務）
- 個人への配当：なし。ただし、償還要請に応じる。（個人台帳あり）
  （時価為替レートで換算≦出資金）

Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

Solidaridadとの協力による インパクト投資の事例

ウガンダ：Kayonza 製茶工場

- 7500人の小農家が加入する協同組合
- 森林破壊や土壌劣化の防止、作物多様化、水不足改善を奨励するUNDPによって、模範的工場として「赤道賞」受賞
- Solidaridadが社会的経済的インパクトの可能性を見出し、テコ入れ

  東アフリカとインドの Solidaridad が協力

出所）Soridalidad　News, October 1, 2019

Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

協力の具体的内容

- Solidaridadが事業計画、投資提案の作成。
- 第2工場建設のためにOikocredit が350万ドルを融資　（2019年）

カヨンザ茶工場の現工場でティーバッグを梱包

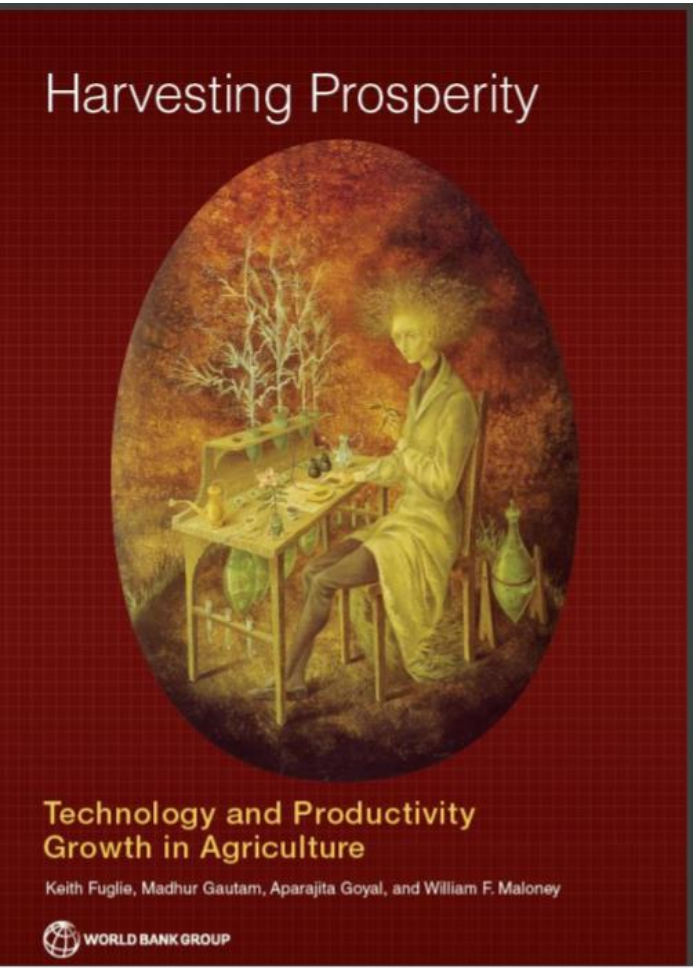
Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

オイコクレジットが重視する要素

- 健全な事業体であること（財務、ガバナンス、労働者福祉）
- 多くの農家の所得に影響
- 加工部門が地域の雇用拡大
- 総合的な成長性
- 地域社会への長期的なインパクト

Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

オイコクレジットはなぜ農業関連事業を支援するのか？



- 世界人口の80％近くが農村部に居住し、貧困人口の大部分は農業に従事
- アフリカ、南アジアでは、農業の成長が停滞、都市部との格差の拡大
- インドの人口は55％が農村部。しかしGDPに占める農業の割合は16％。
- 包括的バリューチェーン創出、農業イノベーションとテクノロジーで収益性、雇用創出が途上国貧困打開の鍵。

（世銀グループ*Harvesting Prosperity* 2019/9参照）

➡ オイコクレジットは　小農家を契約農家とする加工企業や協同組合を支援

Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

日本の
インパクト投資の
見取り図

日本から関わるには？

Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

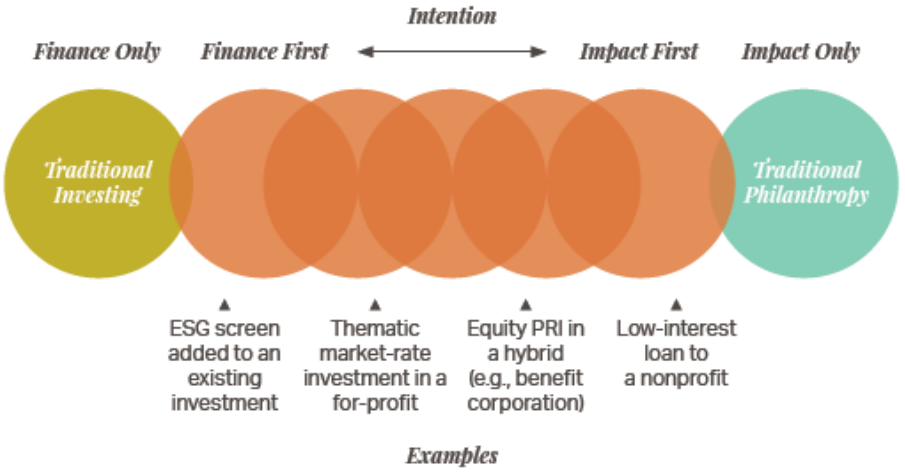
インパクト投資の定義

インパクト投資：社会や環境への計測可能なインパクトを、金銭的リターンを伴いつつ生み出すことを目的とした投資

（L.M.サラモン『フィランソロピーのフロンティア』では、金銭リターンがゼロをも含めている）

それへの投資家：信念に基づく投資家：価値観が使命や目的の動機となっている団体（従来の宗教型～無宗教ヒューマニズム）

投資の受け手：使命感で社会問題解決の活動を行う組織

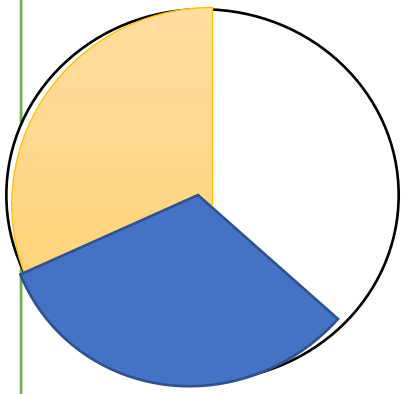


Annual Impact Investor Survey　2019
GIIN/USAID

Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

増える社会的投資への供給者

- 市民の家計資産ポートフォリオの変化



①　安定資産（預金,国債など）
②　リターン目的の投資（株、投資信託）
③　社会的投資（寄付、インパクト投資）

日本では①が圧倒的だったが、②も増加、③への関心も高くなっている。

Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

社会的投資関連用語の登場時期と背景

各用語の登場時期	特徴	開発トレンド	社会的背景
1800ー20C前半	信念によるチャリティ ネガティブ・スクリーニング投資	大規模資本投下 公共インフラ	
1950－1990s	社会的責任投資（SRI）の登場	第二次大戦後復興 市民NGOｓの活躍	✓ ベトナム戦争 ✓ 原発事故 ✓ 南ア人種差別
1990－2008	企業の社会的責任（CSR）、ESG投資	市場重視、PPP、マイクロファイナンス	
2008－今日	企業のガバナンス SDGｓに沿った投資 社会的インパクト投資	長期的な経済・社会へのインパクト 民間組織・財団の関与増加 証券会社も参入	金融破綻と大不況

参照：International Financial Corporation (2019) “Creating Impact: The Promise of Impact Investing”

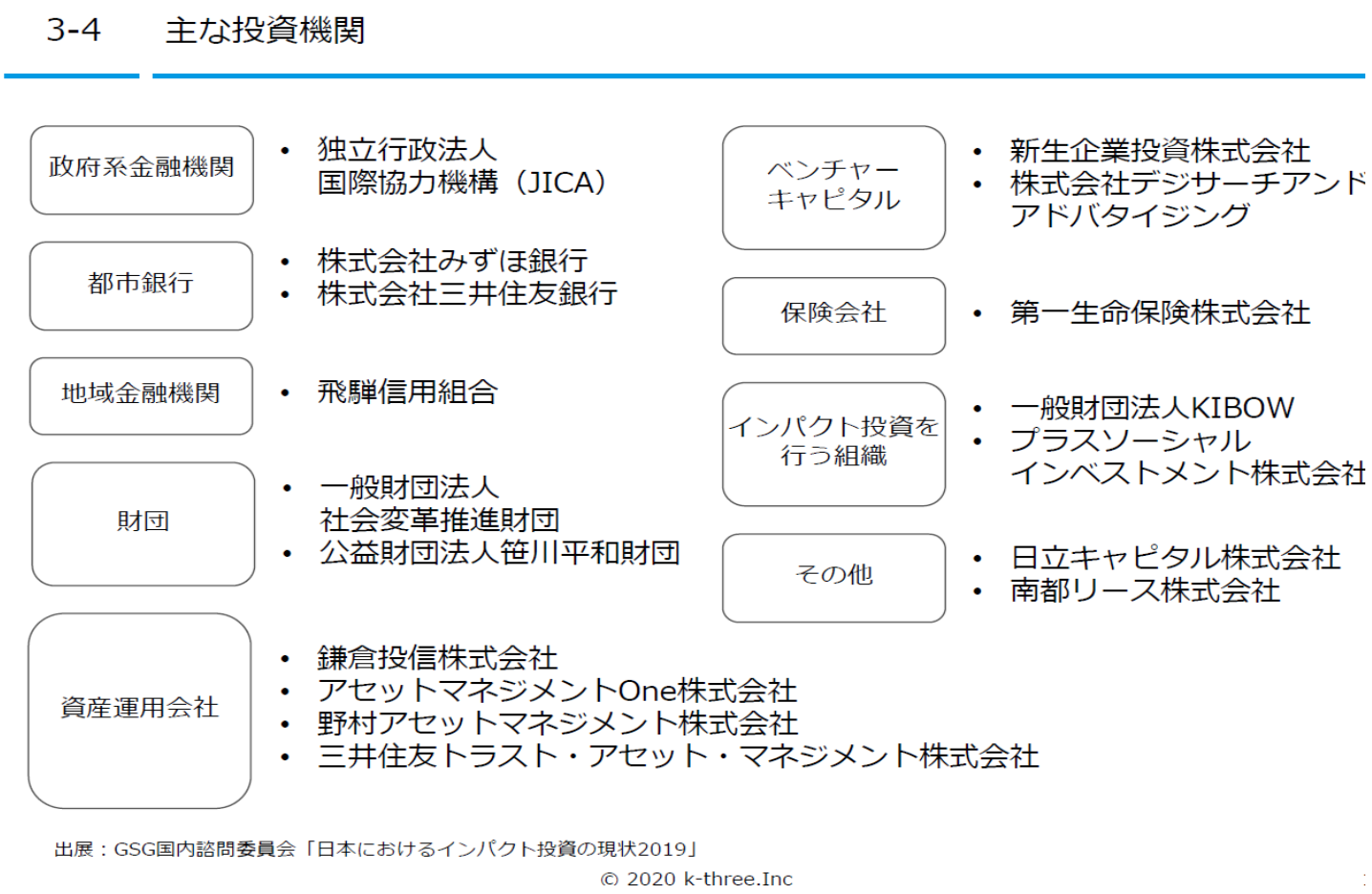
Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

日本のインパクト投資の見取り図

	ビジネスセクター		社会課題解決志向セクター		
機関	機関投資家（年金基金、証券会社、銀行）		公的機関 IFCやJICA	NPO Living in Peace (LIP)	NPO ARUN Seed Oikocredit
用語	SRI・ESG投資	インパクト投資	インパクト投資 ブレンド投資	ソーシャル・ファイナンス	インパクト投資
対象	ESGインデックスの構成銘柄に指定された上場企業	社会的課題にとりくむ企業	リスクが高く、収益性も低い社会解決課題事業に、民間企業と取り込むため公的機関も一緒に投資	マイクロファイナンス機関 (金融業免許を持つMusic securitiesに業務委託)	社会的課題にとりくむ企業・団体
目的	環境や社会にネガティブな影響を与えない	社会にポジティブな影響を与えつつ利潤得る	より多くの開発資金の確保（インフラ等）	MF機関の育成を通じた貧困削減	ビジネス育成を通じた社会課題解決・価値の創出

Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

既存金融機関のインパクト投資への参入



幸地正樹「日本におけるインパクト投資の現状」2020．7.29より

3-6　主な投資分野

日本	グローバル	
投資数	投資数	投資額
教育　75%（9件）	食料・農業　57%（168件）	エネルギー 16%
医療・健康　67%（8件）	医療・健康　49%（144件）	金融サービス 12%
女性活躍推進　58%（7件）	エネルギー　46%（135件）	林業 10%
IT・先端技術　58%（7件）	教育　41%（120件）	食料・農業 9%

出展：GSG国内諮問委員会「日本におけるインパクト投資の現状2019」

© 2020 K-three Inc.

組入上位10銘柄（組入銘柄数60銘柄）

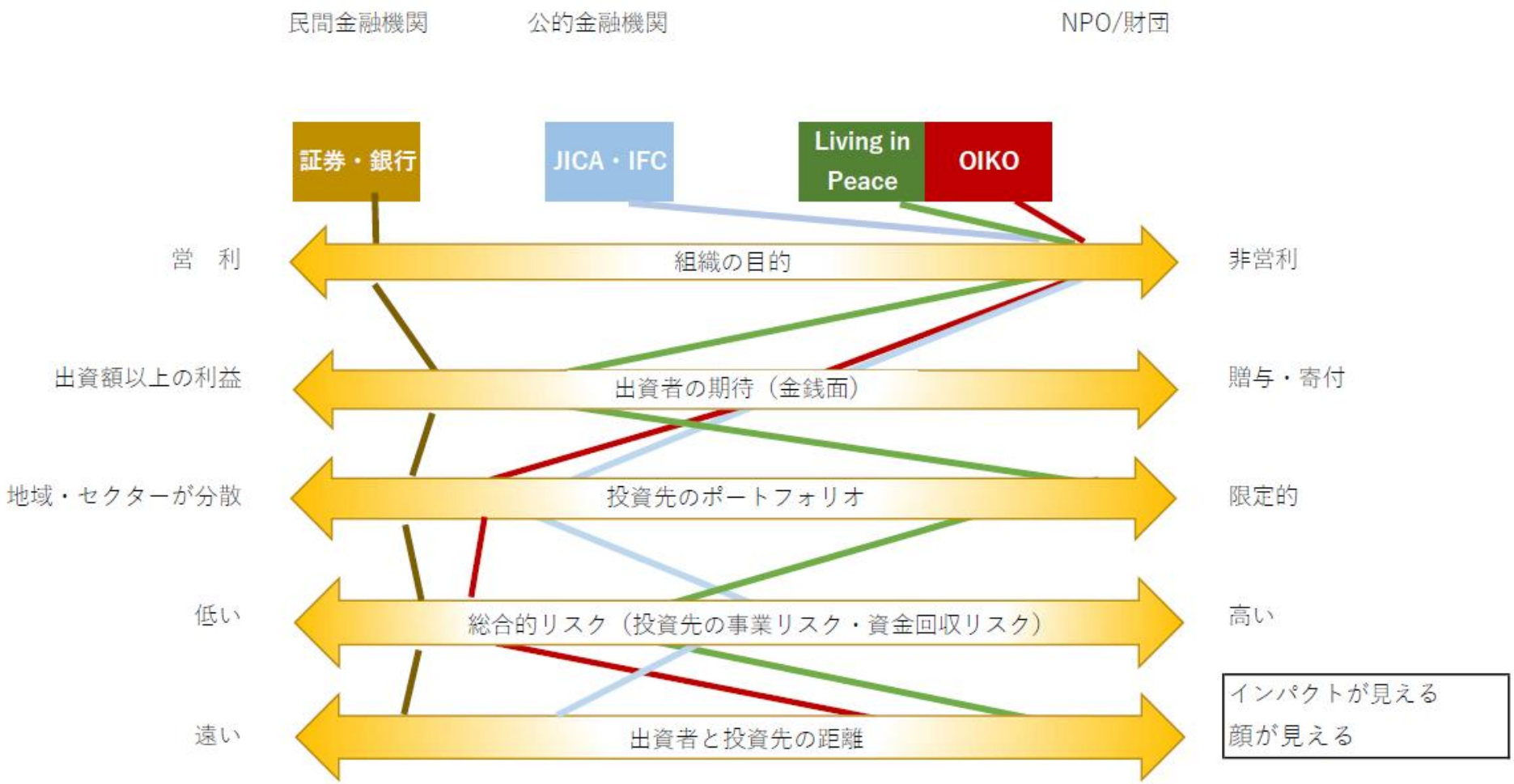
（2018年12月末現在）

銘柄名（日本語表記）	国名	投資テーマ	組入比率	会社概要
インディアブルズ・ハウジング・ファイナンス	インド	住居の確保	2.9%	インドで個人や小規模事業者向けに住宅ローンを提供。低金利の住宅ローン融資を行うことで低所得者層が家を所有することを可能にする。
ゾエティス	アメリカ	持続的農業と栄養支援	2.8%	動物用医薬品メーカー。家畜やペット向けのワクチン、医薬品、抗寄生虫薬など約300以上の製品ラインを有し、100以上の国で事業を展開。乳牛、食肉用の牛や豚などの健康増進を通じて飢餓問題の解決に取り組む。
ローリエイト・エデュケーション	アメリカ	教育と職業訓練	2.8%	ラテンアメリカを中心にオンラインを含む大学や専門学校を世界中で経営。国際金融公社が同社傘下の大学の教育を受けた学生の社会経済的地位の向上率が他社より高いという研究を示すなど、質の高い教育の普及を期待。
シュリラム・トランスポート・ファイナンス	インド	金融サービス	2.7%	インド最大の自動車ローン会社。資金調達が困難な小型トラック所有者への融資に注力。商用車、トラクター、建設機器のローンも手掛けており、様々な金融ソリューションを提供することで国内の交通・物流産業を支援。
ユーロフィン・サイエンティフィック	フランス	マルチテーマ	2.7%	大手バイオ分析検査企業。主に環境、食品、医薬品、行政、消費財業界向けに安全性、認証、純度などの分析・検査サービスを提供することで、世界の健康と安全に貢献。世界40カ国以上で事業を展開。
アバングリッド	アメリカ	代替エネルギー	2.6%	風力、水力、太陽光など再生可能エネルギーの発電や供給により、CO_2の排出量削減に貢献。同社のクリーンエネルギー・ソリューションが大気汚染や地球温暖化の防止に貢献することを期待。
ザイレム	アメリカ	水問題と公衆衛生	2.6%	水問題の解決に注力する水道技術のリーディングカンパニー。集水、給水、利用から自然に戻るまでの循環全体に適用される上下水道用の製品やソリューションの提供により効率的な水浄化サイクルの実現に取り組む。
ファーストソーラー	アメリカ	代替エネルギー	2.5%	太陽電池モジュールメーカー。同社独自の薄膜半導体技術により、大規模発電所プロジェクト用の太陽電池モジュールの変換効率（太陽光エネルギーから電気エネルギーへの変換割合）の改善加速が期待される。
ジョンソンコントロールズ	アメリカ	資源の効率化	2.5%	米国のビル設備大手。各事業を通じて資源の効率化に努める。ビル管理システム事業では、大気汚染や気候変動などの地球環境に配慮し、HVAC（暖房・換気・空調）システムを通じたCO_2排出削減に取り組む。
グラミンフォン	バングラデシュ	デジタルツールとサイバーセキュリティ	2.4%	バングラデシュの最大手通信サービスプロバイダー。圧倒的なシェアを有することから、広大な農村部の通信網整備と女性への製品・サービスの提供を通じて、情報格差によって生じる経済格差の解消を期待。

※ 組入比率は現物株（含むETF）の時価総額対比

https://www.daiwa.jp/products/fund/world_impact/about.html

インパクト投資実施機関ごとの特徴（強み）



Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved

市民の家計ポートフォリオに
社会的投資の割合が増えるよう、
今後も努力していきましょう。

連絡先　０７５－７４４－６９２０

オイコクレジット・ジャパン
http://www.oikocredit.jp/

Oikocredit International
https://www.oikocredit.coop/en/

Facebook **Oikocredit Japan**

Copyright© OIKOCREDIT JAPAN All Rights Reserved